

③ 舞茸の収穫時期について

— 発生した舞茸の収穫時期は、葉の表面の色と裏側の状態を見極めて収穫しましょう —

舞茸の成長は、発生時期の気温、水分(雨)によって違いますので、まめに見るようにして下さい。

(雨に当たりそうな時は、雨よけや少々早くても収穫して下さい。)

◎ 収穫適期な物→食べた時の食感は、シャキシャキしている。



◎ 収穫時期を経過した物→食べた時の食感は、ボサボサしている。



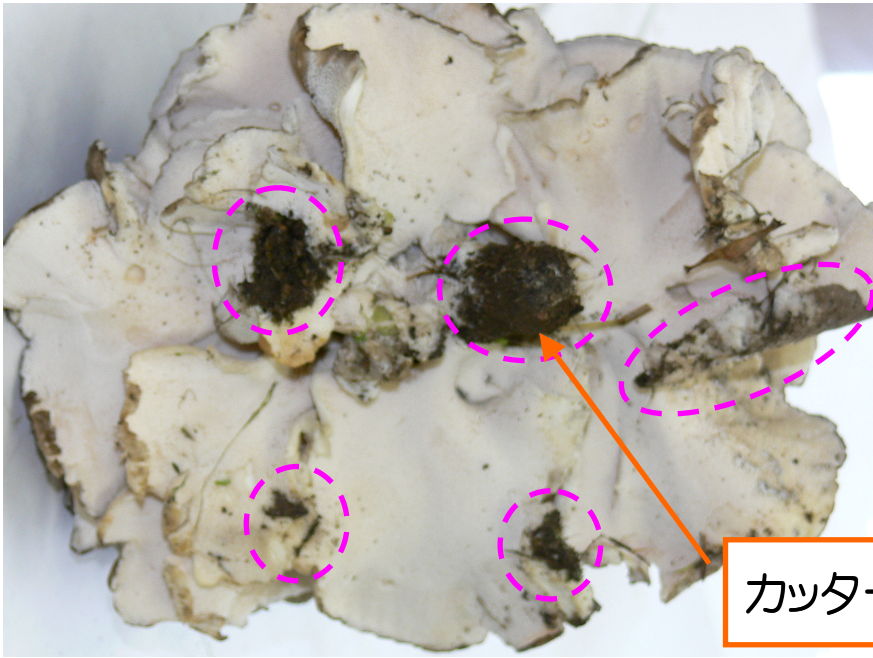
1.収穫適期は、舞茸の葉が赤褐色になる前です。収穫後もわずかですが、舞茸は成長しますので、早めに収穫しましょう。

2.雨の日に収穫した舞茸は、水分を多く含み、日持ちが悪く、腐りやすいので雨の日の収穫は避けましょう。(収穫した場合は、冷蔵庫保管でも2~3日中に食べるようにして下さい。)

3.収穫方法は、土または木の葉と舞茸の葉のすき間に手のひらをそっと差し込んで、軽く左右に揺らしながら引き上げると簡単に収穫できます。



4.収穫後は、根の部分や葉の土をカッターなどできれいに取り除きます。



カッターなどで根の部分や葉の土をきれいに取り除きます。

5.発生・収穫終了後伏込み場所の遮光幕等の日除けは、収穫終了後11月中旬位までに取外し翌年の夏へ備えて保管して下さい。(降雪や暴風での破損を防ぐ為。)

6. 翌年の春先まで管理必要ありません。その後、『② 舞茸菌木の発生時期までの管理方法』と『③ 舞茸の収穫時期について』を舞茸菌木の発生寿命まで繰り返して下さい。

7. 舞茸菌木の発生寿命は、発生量などによって多少の差はありますが、4～5年です。(目安は、伏込んだ場所が、木の皮のみで土が落ち穴が空いたり、草取り時に沈み込む時です。)



木の皮のみで土が落ち穴が出来る



※舞茸発生は、気象条件とりわけ発生促す気温低下、降雨時期と雨量により発生時期や収量はその年ごとに变化します。